

ゼロカーボンシティたかす 宣言文

近年の世界的な気候変動の影響により、未曾有の異常気象が頻発しており、その原因のひとつとして地球温暖化によるものとされています。

2015年に採択されたパリ協定や2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する特別報告書）では、「平均気温の上昇幅を2℃未満」とし、さらには1.5度以内に抑え込むためには「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされました。

気候変動への対策は、持続可能な開発目標（SDGs）に掲げる目標の中でも、最も重要な要素であるといえます。

豊かな自然環境と経済、そして社会が相互に支えあう仕組みを創造し、誰もが安心・安全に住み続けることができる環境を、持続可能となるよう維持していかなければなりません。

目標を達成するためには、人が輝き、地域資源を活かし、安心を未来へとつなぎ、今を生きるあらゆる人が関係し各々を高め合う「鷹栖らしさ」への意識づくりが何よりも大切です。

今できることを町民のみなさんと共に考え、共に実践する。

ここに鷹栖町は、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

2022年6月26日

鷹栖町長 谷 寿 男